

都市・環境常任委員会

(平成26年1月16日)

〔常任委員会〕

川村幸康委員長

1月8日に行われた議会報告会、シティ・ミーティングで出された課題ということの整理をさせていただきたいというふうに思っております。

まず、議会報告会のほうですけど、塩浜の方と笹川の方からこのような質問内容があって、こういうふうな考え方で答弁も終えているんですけど、別に全体に報告する必要があるんかないのかやな。

ご意見ある方。

諸岡 覚委員

その場で自己解決していたと思いますので、もうそれで済んだと。

川村幸康委員長

よろしいですか。

諸岡 覚委員

ええ。全体では必要ないかと思えます。

川村幸康委員長

そうしたら、皆さん、ご異議ございません。

(異議なし)

川村幸康委員長

そうしたら、これはここで終わっておるということで、終結ということで。

そうしたら、シティ・ミーティングのほうですけれども、これも大体答えたのと、あとは担当部局に現状を確認して、また答えさせていただきということの話で、どれもかも確認されたと思うんですけど、そういうことでよろしいですか。

そして、事務局、これ、小杉の方ですか、確認したいと。交差点のこともありましたし、

あともう一個、下水道のほうであったかな、接続してもらうよう委員会として行政に要請していただきたいと。

川村高司委員

営業目的で。

川村幸康委員長

営業目的でやっている人と、コーポということですよね、多分。単体の家ではなくて、商いしている人のつなぎ込みが悪いから、このあたりをどう。だから、これを委員会としてやるか。

諸岡 覚委員

9番の接続のところ、この方がおっしゃっておったことは、正直聞いておって、ごもっともやというふうに私は感想として思いました。事務局ベースで、担当部局に確認だけしていただいて、もし市の条例レベルで何とでもなるというものであれば、一回それはまた、この委員会の休会中の調査事項か何かに取り上げていくという方向性で、きょうのところは、とりあえず事務局ベースで一回確認しておいてほしいという、そんなところでいかがでしょうか。

川村幸康委員長

よろしいですか、そういう諸岡委員の。

三平一良委員

店舗やアパートの接続状況というのは、僕ら、わからんので、その辺は。

川村幸康委員長

原課に聞いてみて。

三平一良委員

どれが、本当に接続状況が悪いのか、その辺調べてもらう必要があると……。

川村幸康委員長

そうすると、担当部局に、現状どうなっておるのか、そしてルールがどうなっておるのが聞いて、その上で、そのルールどおりになっていないのか、それはルールに定めていないのかによって、正副委員長で判断させてもらって、休会中に、そうしたらそこは調査しましょうかという判断をさせていただいてよろしいですか。

諸岡 覚委員

結構です。

野呂泰治委員

以前に、前何かこんなのあったね。

川村幸康委員長

ありましたね。

あとは、完遂しておんのかな。北勢バイパスは。

野呂泰治委員

ええんと違います。答えておるので。

川村幸康委員長

それから、塩浜の方が何か、2 kmを走って、バスが300万円かかるんはどのこうのと
言われておったのを、1番の議会報告会の中でやったけど、ここでも出てきていますやろ
う。シティ・ミーティングでまた言われておったでしょう。ここには、バスヘシフトして
もらうための施策を実行すべきだと考えるって、これはこのまま委員会で、シティ・ミー
ティングでそんな意見が出たというのを担当部局に言うておくだけなんか。私は知らんだ
で、一遍聞かせてもうてから考えると言うたんやわな、あのとき。

野呂泰治委員

これ、試算方法があるはずですわ。コミュニティバスの運賃。業者から上がってくる。

そんなのを一遍ちょっと部局に聞いてもらえば、どういうふうになっておるか、わかると思うんですけど。余り言わなんだもんで。運賃の決め方。

川村幸康委員長

というか、多分ルート変更によって300万円ぐらい上がるのやけどどうのこうのという話は、知らんところで進められた、地元と行政同士の交渉やで。

野呂泰治委員

原価計算の、業者と市との価格、話し合えとなっておるから。その辺、ちょっと。

山口智也副委員長

私も定かじゃないんですけど、楠に迂回させるとかいう話というのは、多分地元でもう上がっておる話で、塩浜地区のまちづくり構想、これの今の段階、今、どういう状況かわからないんですけど、多分そこでも上がっておる話かなと思うので、その議論を一回確認した上でないと、委員会として先走るというのも。

川村幸康委員長

そういうことやね。そうしたら、一遍内容を確認させてもらいますわ。地元でどの程度行政と詰めて、どんな状況になっておるんかと。それについて、皆さんにもう一度説明させてもらって、その後どうするかって決めさせてもうてもよろしいですか。

二つですな。一つは、小杉の方のは原課で調べて、そしてどうなっておるんかで、もしあれば、あれするし、委員会で取り上げていくし。もしそうでなければ、もうそれは決まっておることだけをこの方に投げ返させていただくと。決まっておるのにもかかわらずやられていないんなら、それは、担当の上下水道局のほうできちっと、それはされるような行政指導をしてほしいということで、やらせていただくということですか。

村上悦夫委員

シティ・ミーティングで、小杉の方のところで3番目だけど、小杉37号線のところ、交差点、変則になっておるけれども、これは問題あると思う。東芝道路と通称、言っておて。

川村幸康委員長

私、わかっていないんですけど、これって、山手中学校とあれと来るところのことを言うておるの。違うの。どこのことを言うておるのか、余りわかっていなかったんですわ。

川村高司委員

西浦通りをずっと上がっていった。

三平一良委員

だから、T字路になっておるでということやろう。

村上悦夫委員

L字型の交差点や。

三平一良委員

あそこな。

川村幸康委員長

どこ。L字型。

村上悦夫委員

海蔵、橋渡るやつ。

あれをまっすぐ登ると、二つ目の信号。

川村幸康委員長

いやいや、私は、T字路で山手中学校のことを言うておったんと違うの。道路こうやっであるでしょう、東西に。

諸岡 覚委員

山手中学校からずっともっここっちへ来る。

川村幸康委員長

山手中学校からこっちに来たところの、この突き当たりの交差点のことでしょう。T字路って。ようつんであって、なかなか右左折レーンも少ないし、あれで。そのちょっと向こうに行ったところに、向こうに行く、パチンコ屋に行く、野田のほうの変則の交差点のことですな。

諸岡 覚委員

あそこをぼーんと抜いてくれという話ですよ。

川村幸康委員長

ぼーんと抜いてくれ。

川村高司委員

十字路にしてくれ。

川村幸康委員長

どっちか、こっちはできたばかりの道、向こうをこっちへ寄せる。新しくつくるとかか。

諸岡 覚委員

要するに、とりあえずあそこ抜いて。

村上悦夫委員

ちょっとこう曲げてやったらええんやけどな。

山口智也副委員長

斜めに。

川村幸康委員長

どうやって曲げるの。そんな曲げられる、
これ東西でしょう。これ、山手中学校から来るやつやろう。

村上悦夫委員
こういう方法しかないやろう。

三平一良委員
全部そうやな。四日市は全部そう。

村上悦夫委員
ここはもう本当にそれは難儀しておる。

川村幸康委員長
それは聞いたで、委員会としても課題は多いと思う。ただ、上げ方なんですけど、土木要望会にしたらあかんというけど、聞いて、そうやなと思ったときに、どう扱うかというのもあるんやわな。

諸岡 覚委員
ただ、それを何でもかんでも、地域には地域の土木要望があって、どこへ行ってもこういう要望はあるはずなんですよ。今後も都市・環境常任委員会で、行く先々でこれを聞いて、それを全部、一つ一つ委員会のテーマにしてしまうと。

村上悦夫委員
全部やらなあかんわな。

諸岡 覚委員
取りとめがなくなるので、あくまでもこういう個別のやつは、確かに聞きました、聞いたことは担当部局に地域の声としてお伝えしましたと、そこまでにしておかんと。

村上悦夫委員

それともう一つ、実際に要望が上がっておるかどうかの確認も。

諸岡 覚委員

あの方個人の問題であって、自治会的には全く問題ないというケースもあると思うから、あくまで声があったということをお伝えすると。

村上悦夫委員

自治会から上がったかどうかの確認やわな。

川村幸康委員長

なるほどね。これが小杉37号線ですな。変則交差点ね。

そうしたらまず、事務局に土木要望として上がっておるかどうかの確認と、上がっておれば、どういう計画があるのかないのか。それから、地元としてもそれは、全体合意が得られておるんかどうなんかね。この方個人の発案なのか含めて調べて、そして、その上で返答を返させてもらおうと。

ということでよろしいですかね。

(異議なし)

川村幸康委員長

と、市民意見を議会として協議すべき意見とあれとというのは、一回原課を調べてからやっていくという整理の仕方で、全体に戻すというようなものはなかったと思いますので、そういう仕分けでよろしいですか。

(異議なし)

川村幸康委員長

以上できょうの協議事項は全て終了しましたね。

そうしたら、これで委員会を閉じさせていただきます。

ありがとうございました。

1 4 : 0 4 閉議